

第233回

# 柏崎しんきん地区内経済指標

(平成27年8月)

 柏崎しんきん

(平成8年4月 創刊)

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,487	-0.06	0.70	4,215	1.51	1.95
東部地区	14,212	-0.03	-0.09	5,772	0.61	-0.17
西部地区	10,285	-0.84	-0.05	4,025	-0.04	-0.17
駅南地区	6,338	-0.04	-0.14	2,830	1.28	-0.35
半田地区	3,703	0.32	-0.26	1,418	1.50	-0.21
横山地区	5,475	-1.04	0.01	1,965	0.46	0.15
茨目・田尻地区	7,136	1.34	-0.05	2,568	2.63	-0.15
荒浜地区	4,878	-1.77	-0.20	2,007	-0.09	-0.19
その他地区	18,711	-2.66	-0.13	7,040	-0.83	-0.07
西山町地区	5,801	-2.14	-0.08	2,105	-1.03	0.00
高柳町地区	1,587	-2.81	-0.25	759	-1.93	-0.39
柏崎市計	87,613	-0.93	-0.02	34,704	0.37	0.10
刈羽村	4,772	-0.74	0.16	1,574	-0.19	0.12
小国地区（長岡市）	5,668	-2.56	-0.29	2,109	0.09	0.00
出雲崎町	4,699	-1.75	-0.14	1,760	-0.33	-0.17
合計	102,752	-1.05	-0.03	40,147	0.30	0.09

（資料出所：柏崎市、各市町村）

### ○地域全体の人口動向

前年同月比は、柏崎市で▲826人(▲0.93%)、刈羽村で▲36人(▲0.74%)、小国地区(長岡市)で▲149人(▲2.56%)、出雲崎町で▲84人(▲1.75%)、全体で▲1,095人(▲1.05%)となっている。前月比は、柏崎市で▲20人(▲0.02%)、刈羽村で+8人(+0.16%)、小国地区で▲17人(▲0.29%)、出雲崎町で▲7人(▲0.14%)、全体で▲36人(▲0.03%)となっている。

### ○世帯数

前年同月比は、柏崎市で+130世帯(+0.37%)、刈羽村で▲3世帯(▲0.19%)、小国地区で+2世帯(+0.09%)、出雲崎町で▲6世帯(▲0.33%)、全体で+123世帯(+0.30%)となっている。前月比は、柏崎市で+38世帯(+0.10%)、刈羽村で+2世帯(+0.12%)、出雲崎町で▲3世帯(▲0.17%)、全体で+37世帯(+0.09%)となっている。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎管内	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎管内	新潟県	柏崎管内	新潟県
月間有効求人	1,724		-4.32		0.58	
月間有効求職者	1,498		-9.10		-0.92	
月間有効求人倍率	1.15	1.19	0.06*	0.05*	0.02*	-0.01*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）で、月間有効求人数が1,724人と前年同月比▲78人(▲4.32%)、前月比は+10人(+0.58%)となっている。

月間有効求職者数は、1,498人と前年同月比▲150人(▲9.10%)、前月比▲14人(▲0.92%)となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.15倍と前年同月比+0.06倍、前月比+0.02倍となっている。なお、県平均1.19倍と比べると▲0.04倍となっている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が676人と前年同月比+41人(+6.5%)、月間新規求職者数が403人と前年同月比+26人(+6.9%)となった結果、月間新規求人倍率は1.68倍となり、前年同月の1.68倍と同数となっている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成27年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	22	4	-9	147	8
共 同 住 宅	1	-1	1	4	-3
事 務 所	0	-3	-1	6	0
作 業 所・工 場	2	2	1	6	3
営 業 建 物	0	-4	-2	7	-6
公 共 建 物	0	0	0	1	0
そ の 他	6	2	0	49	5
合 計	31	0	-10	220	7

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、31件(前年同月比+4件)。工種別内訳の増減(前年同月比)は、一般住宅(併用)で+4件、作業所・工場で+2件、その他で+2件となっているが、共同住宅で▲1件、事務所で▲3件、営業建物で▲4件となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が22件、一般住宅(併用)22件における市内・市外施工業者別の確認申請は、市内施工業者が11件(新築7件・増築3件・改築1件)、市外施工業者が11件(新築10件・改築1件)となっている。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	66,845	1.19	0.12	17,667	-2.20	15.03
電 力	9,515	-2.67	-0.19	41,710	1.77	-0.18

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比+790口(+1.19%)、前月比+83口(+0.12%)となっている。電力においては、前年同月比▲262口(▲2.67%)、前月比▲19口(▲0.19%)となっている。

使用量は、電灯が前年同月比▲399kwh(▲2.20%)、前月比+2,309kwh(+15.03%)となっている。電力は、前年同月比+727kwh(+1.77%)、前月比▲79kwh(▲0.18%)となっている。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	558,066	-13.22	-20.87	746,383	0.05	9.74
営 業 用	243,006	-1.60	10.18	139,905	2.37	15.77
工 業 用	839,953	18.31	-7.65	119,071	13.15	-0.45
官 公 学 校 用	393,415	5.74	16.69	97,656	5.00	6.36
そ の 他				55	0.00	-74.88
合 計	2,034,440	3.16	-6.35	1,103,070	2.05	8.93

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計で前年同月比+62,419m<sup>3</sup>(+3.16%)、前月比▲138,172m<sup>3</sup>(▲6.35%)となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比で工業用・官公学校用が増加し、前月比では営業用・官公学校用が増加している。

一方、水道給水量は、前年同月比+22,222m<sup>3</sup>(+2.05%)、前月比+90,449m<sup>3</sup>(+8.93%)となっている。用途別内訳は、前年同月比では全ての用途で増加し、前月比では工業用・その他で減少し、家庭用・営業用・官公学校用で増加している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	93,391	0.67	0.80	96,504	0.99	-0.27
西 山	51,512	2.52	23.23	49,955	2.16	28.51
米 山	31,577	6.19	25.63	29,470	5.80	24.98
合 計	176,480	2.15	10.59	175,929	2.10	10.49

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の高速道路出入口での交通量は、入口が全体で前年同月比+3,731台(+2.15%)、前月比+16,906台(+10.59%)となっている。

出口においては、全体で前年同月比+3,627台(+2.10%)、前月比+16,712台(+10.49%)増となっている。

インター別では、入口・出口共に前年同月比では全てのインターで増加し、前月比では柏崎インターの出口で減少している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
8 月 末	358,191	-4.37	-0.62	148,830	3.79	-0.25
8 月 平 均	361,129	-3.86	-0.16	148,605	4.09	0.28

預金は、8月末残高が前年同月比▲16,378百万円(▲4.37%)、前月比▲2,239百万円(▲0.62%)となっている。平均残高は、前年同月比▲14,515百万円(▲3.86%)、前月比▲610百万円(▲0.16%)となっている。

一方、貸出金は、8月末残高が前年同月比+5,437百万円(+3.79%)、前月比▲374百万円(▲0.25%)、平均残高は、前年同月比+5,847百万円(+4.09%)、前月比+422百万円(+0.28%)となっている。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	21,611	11.71	-11.63
交 換 金 額	17,488	38.58	-7.34
不 渡 り 手 形 枚 数	12	200.00	50.00
不 渡 り 手 形 金 額	11	52.58	294.33

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比+2,266枚(+11.71%)、前月比、▲2,845枚(▲11.63%)、また、交換金額は、前年同月比+4,869百万円(+38.58%)、前月比▲1,387百万円(▲7.34%)となっている。なお、不渡手形は12件・11百万円発生している。

法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は、2件(前年同月5件・前月3件)、負債総額0.7億円(同17.2億円・同4.3億円)となっている。地区別では中越地区で1件(長岡市)、下越地区で1件(新潟市1件)発生している。業種別では製造業・サービス業でそれぞれ1件発生しており、倒産原因の状況は販売不振1件・その他1件となっている。

企業倒産における負債総額が1億円を下回るのは、2007年9月以来、7年11ヶ月ぶりであった。金融円滑化法終了以降も金融機関が行ってきた返済猶予やリスケジュール等の柔軟な対応は続いており、大きな政策転換などが無い限りは倒産の急増は考えにくい。ただその一方で、経営再建に取り組みつつも、長期にわたる債務超過や借入負担などから財務体質が改善しない企業も多い。各種リスク要因なども踏まえれば、倒産増加懸念を含んだ推移は続くと思われる。